

昭和二十二年六月十二日 (第三種郵便物認可)  
令和元年七月十三日発行 (毎月一回十三日発行)  
定価 五〇〇円

第934号

龍

飛

秋季昇段・級試験課題発表表

第七十五卷

8  
月号

高知  
龍跳書道会

竹村子雀書

順時不作榮枯想適  
忘之忘忘買心

子雀書

順時不作榮枯想適意元無勝負心

雁塔聖教序

褚遂良



大唐三藏聖教序。太宗文皇帝製。蓋聞。二儀有象。顯覆載以含生。四時  
大唐太宗文皇帝製。三藏聖教序。蓋し聞く。二儀に象有り。覆載に踰わられて以て生を含む。四時に

雁塔聖教序 褚遂良

三藏法師こと玄奘（六〇二―六六四）は十七年に及ぶインド遊学を終え経論六五七部を携え長安に帰着。玄奘の漢訳仏典に太宗が序を「（皇太子）高宗」が記を作った。これがもとで雁塔聖教序の名がある。

「聖教序」の筆者は褚遂良 五十八才の筆になる。その書は弾力性豊かで細い、太い、強い、弱いの変化が多く、清らかな風韻を奏でている。褚遂良の楷書中最晩年の作である。独自の書法を完成して最優作と言われている。

（書道資料集、書の世界参考）

出間桂堂書

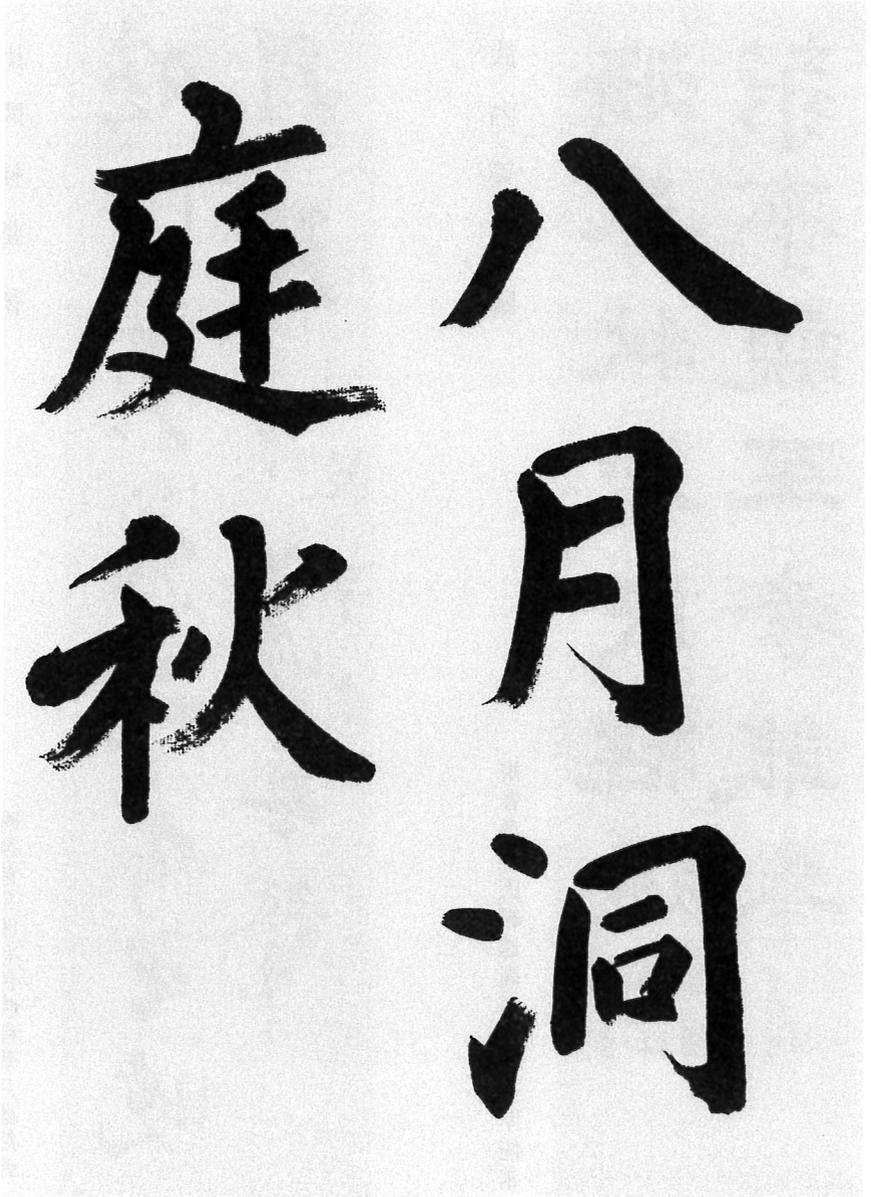
晚徑黃花開有色  
曉程殘月落無聲

A vertical calligraphy piece in cursive script (caoshu) by Shūmei. The text is a couplet: "晚徑黃花開有色，曉程殘月落無聲。" The characters are fluid and expressive, with varying line thickness and dynamic movement. There is a small seal below the main text.

武内美仁臨

脩春秋嚴氏經通高第事親至孝能奉

A vertical calligraphy piece in regular script (kaishu) by Shūmei. The text is a couplet: "脩春秋嚴氏經通高，第事親至孝能奉。" The characters are clear, uniform in size, and well-spaced. There is a small seal at the bottom right.



梅  
川  
桂  
龍  
書

八月  
洞庭どうていの秋

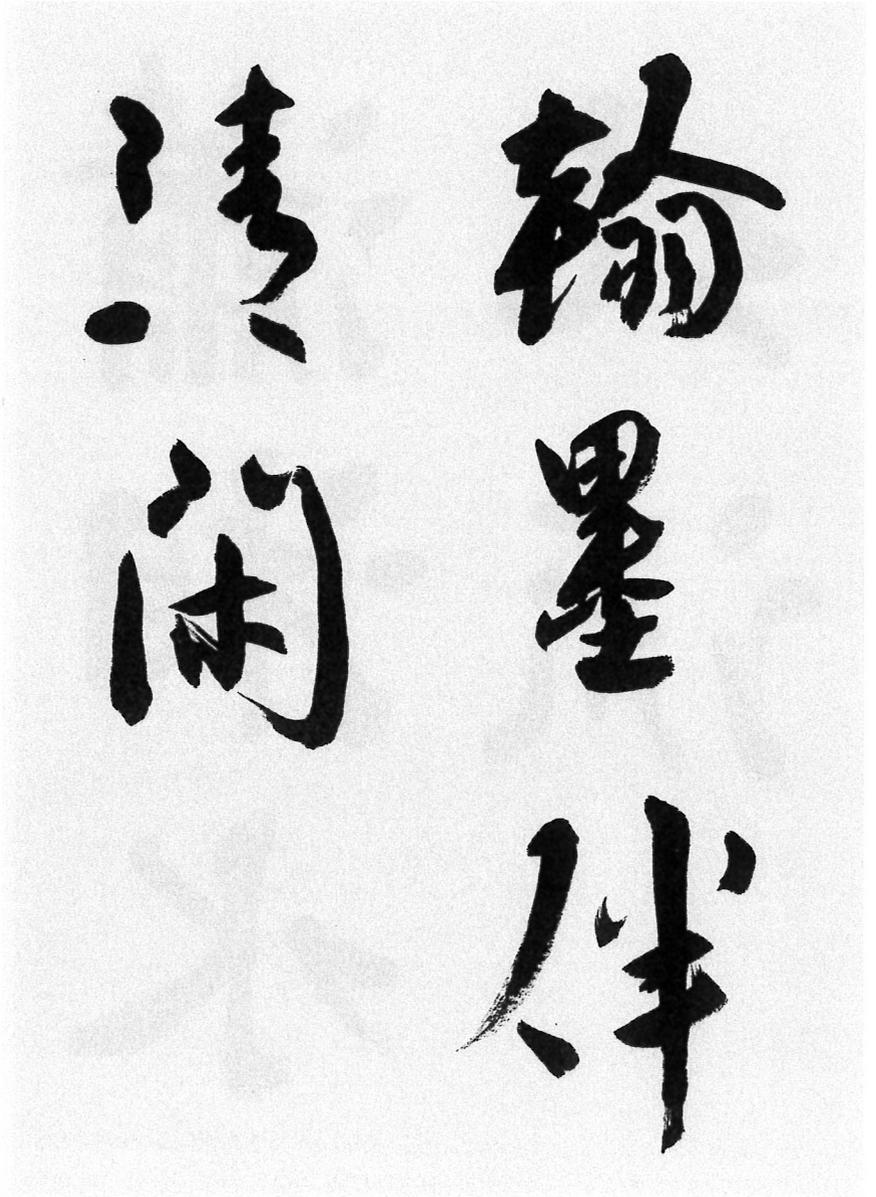
7月20日縮切

梅川桂龍書

瀟湘水  
北流

瀟湘水  
北へ流る

8月20日縮切



福原 暁雲 書

翰墨清閑に伴う

出  
間  
桂  
堂  
臨

褚  
遂  
良

雁  
塔  
聖  
教  
序

二  
儀  
有  
象

二  
有  
儀  
象

大崎花梢書

五月之初  
始潮  
浪生江  
東人  
靜  
後  
年  
清

大崎花梢書

江西澄翠書

芳景  
心  
生  
甜  
日  
動  
竹  
梢  
嫩  
響  
覺  
扇  
來

江西澄翠書

武内美仁 臨

鄉平原亭唐人令鮓  
疊字文公上黨毛

美仁

佐竹江月 書

重山時中句如點  
木以又係山一峰

江月

之骨力偏为道器  
是少尚美枯槁

津野惠泉

朱更仁今何在  
少道不存

中城知抄

齊聲於曾閔是以貽  
則當世錫類後

坂本碧香

陈子安公学有布风  
和妙陈述和諫

西村由香

前已久遠同趣甚提七  
世母級善躋解脫

吉永光翠

清畫攫金之士哉其  
非謂也君子愛人

野中惠花

其源故知蠢：凡愚  
區々庸鄙救其

吉田深美

高勝无星真忠生老交固信  
大口銘孝文殊榮疎及殊

中平美峰

視聽之娛信可樂也夫  
人之相與俯仰一世或

岩村 祥

僕射指麾宰相与兩  
省臺省已下帶

岩河里華

条幅当選作品 北代碧山 選評

★天位

津野恵泉君||無難に臨している。拂いの線を強くすると、ぐんとよくなるだろう。

中城知抄君||まじめに臨しているも、所どころ息切れの感がする。

息永く書くこと。

坂本碧香君||楷書をよく臨している。この調子でがんばること。

西村由香君||明るく臨していて可とする。筆力の養成が肝要と思う。

吉永光翠君||努力は認められるが、もつと原本に忠実に目をさらす

こと必要。

★地位

野中恵花君||大分筆力が加速されたようだ。流れもよい。

吉田深美君||楽に臨していて、うまく章法がとれている。

中平美峰君||素朴で大胆な臨。

★人位

岩村 祥君||流れよく筆力に富む。この調子でがんばること。

岩河里華君||まじめな臨、あまり形にとらわれないほうがよい。

作品は毎月20日必着  
(必ず守って下さい)

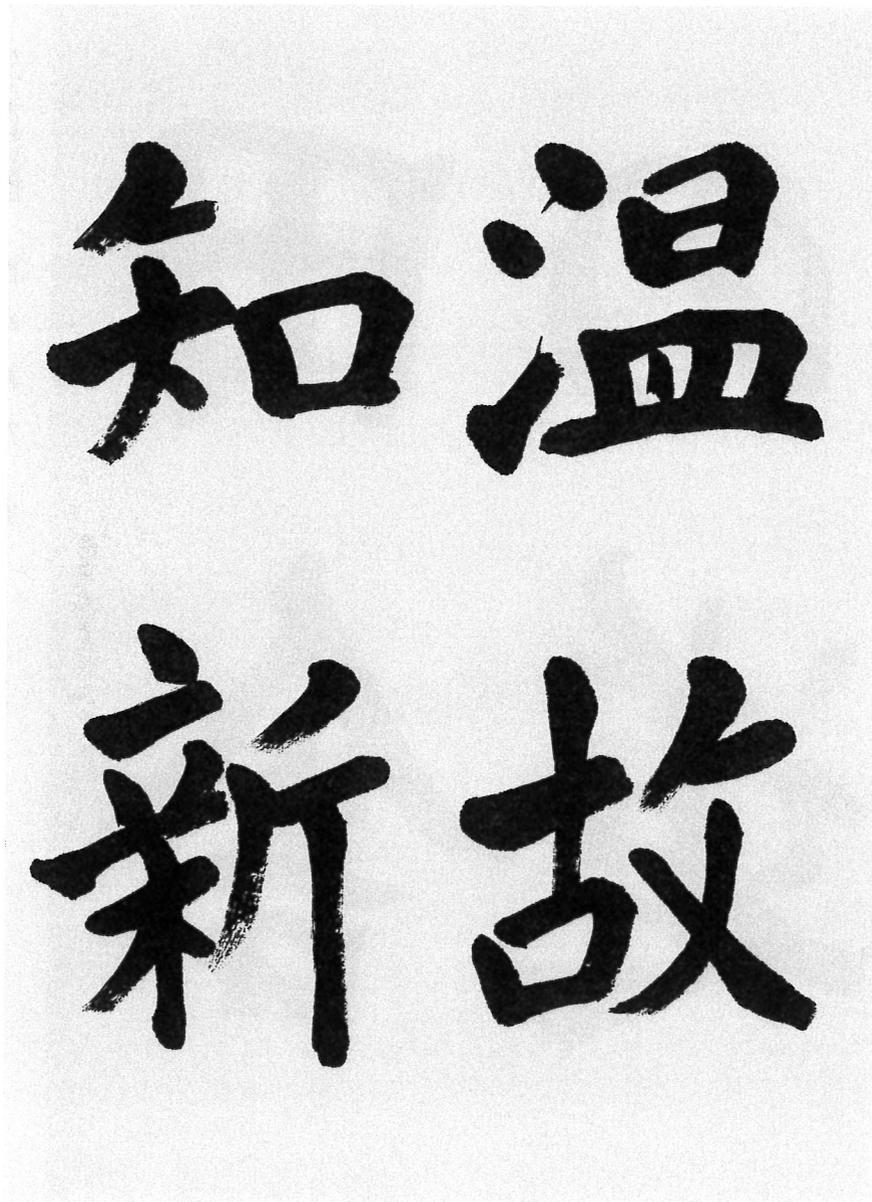
▷ 次回審査会 ◁

7月の審査は21日(日曜)午前9時30分に開始  
します。審査会場は**高知城ホール**です。

※審査終了後、県展作品勉強会を行います。(参加費500円)

海  
岸  
の  
散  
歩

8月20日締切



8月20日縮切

の田  
道舎

8月20日締切

草を  
取る

8月20日締切

夏  
休

8月20日締切

小学三年課題

大原桂園書

台風

8月20日縮切



8月20日縮切

小学一年・ようち・ほいく課題  
山本瑞草書

すな

8月20日縮切





学校名							
四年							
級段							
氏名							
	体	し	の	家	か	学	
	を	っ	に	の	り	校	
	す	ぽ	気	げ	は	か	
	り	を	が	ん	見	ら	
	よ	び	つ	か	知	ら	
	せ	ん	い	ん	ら	ぬ	
	て	と	た	の	ぬ	ね	
	き	立	た	前	こ	こ	
	た	て	ね	に	こ	こ	
	。	て	こ	い	が	た	
		て	は	る	あ	あ	

学校名	ン	あ	耳	き	と	
	、	の	に	た	、	空
	鳴	音	聞	か	雨	が
三	り	だ	こ	け	が	暗
年	始	。	え	だ	ほ	く
級段	め	チ	て	し	つ	な
氏名	た	リ	き	た	ほ	っ
	の	ン	た	た	つ	た
	だ	、	の	ほ	落	と
	。	チ	は	く	ち	思
		リ	、	の	て	う

がっこう					
	い	た	赤	に	
	が	と	い		ま
	し	き	ト	顔	だ
ニ	ま	と	マ	を	み
ねん	し		ト	近	ど
	た	同	を	づ	り
きゆう		じ		け	色
う		に	食	る	な
なまえ		お	べ	と	の



がっこう				
ほねん	ま	ゆ	と	お
	わ	う	ん	そ
だん きゆう なまえ	っ	ゆ	び	ら
	て	う	が	で
	い	と		
	る。			

第七十回 こども県展について

先日高新で募集要項が発表されました。

毛筆

課題 小一年 かに

〳二年 ふゆ

〳三年 大地

〳四年 親しい友

〳五年 草原の朝

〳六年 夜空花火

中一年 意見発表

〳二年 花鳥風月

〳三年 新聞編集

※ 本誌十月号の毛筆課題は、

右のこども県展課題と同様にします。

(手本は八月審査会提出)

※ 担当者は7月21日に課題を書いて、審査会場に

ご持参の上、指導を受けて下さい。

〈お知らせ〉

県展作品下見会について

7月21日(日)と8月25日(日)

審査会終了後に県展出品作の下見会を行います。早目に取り掛かっていずれの日かに必ず参加して下さい。

(両日の参加、歓迎です)

(参加費五〇〇円)



(一段目) 出間桂堂 選評  
桂紅君 最後まで丁寧で心のこもった作。

巨心君 小さく仕上げている。線質は深い。

智子君 いつものながら清楚で品格を感じれる作。

芳春君 力のびくんと奔放自在で佳。

(二段目) 梅川桂龍 選評  
容舟君 気力充実で健康な作。

忠臣君 慎重な書きぶりに好感がもてる作。

里花君 線に重厚感あり。

紅花君 変化に富んだ線で良くまとめている。

紅玖君 小粒だが秘めた力あり。

充君 暖かみのある線は可、「制」の字は一考。

(三段目) 前田秀華 選評  
真理君 力みなく温厚で余白が生きている。

里仙君 無難にまとめている。

竹山君 凛として強い筆圧でよい線質を持っている。

昭生君 少し多墨だが、丁寧に書いている。

キン子君 線に冴えと筆勢あり、動きが大きい。

(四段目) 野島桂山 選評  
千枝君 勢い有り佳。

雛喜君 丁寧によくまとめている。

淳君 真面目さが伝わってくる作品。

輝代君 安定感ありすばらしい作品。

波美江君 作品はよい、自分の氏名も書くように。

蘭亭 脩契  
皓月

蘭亭 脩契  
美子

蘭亭 脩契  
桂山

蘭亭 脩契  
美子

雲 禪  
美津子

田風 麦  
美津子

蘭亭 脩契  
美津子

田風 麦  
美津子

婁 王  
美津子

氣 清  
美津子

蘭亭 脩契  
美津子

氣 清  
美津子

蘭亭 脩契  
桂山

蘭亭 脩契  
美津子

聲 於  
美津子

蘭亭 脩契  
美津子

家 之  
桂山

蘭亭 脩契  
美津子

曾 閱  
美津子

蘭亭 脩契  
美津子

出 子  
美津子

浮 沉 秦  
美津子

蘭亭 脩契  
美津子

蘭亭 脩契  
美津子

蘭亭 脩契  
美津子

漢 之 間  
美津子

蘭亭 脩契  
美津子

書 傳  
美津子

蘭亭 脩契  
美津子

蘭亭 脩契  
美津子

蘭亭 脩契  
美津子

書 上  
美津子

(一段目) 福原暁雲 選評

皓月君 連達の書、良い線質で堂々とした作品。

澄翠君 二ノクな崩しで楽しい、ベテランの作。

桂山君 例月の作より、今月は線に潤いと規模が大きい佳。

美津子君 規模雄大で線質も良い。望春君 丁寧で、落着いた作品です。

(二段目) 大黒仙雲 選評

喜美子君 すすんなりと明るい。幹子君 垢なく、すずしく書けた。恵歩君 伸びやかに整った。司郎君 個性的な臨になった。貴志子君 線深く四字決っている。

(三段目) 岡崎緑水 選評

絢子君 粘りのある線で誠実な臨。哲郎君 温かな臨、流れもある。竹山君 堂々として素直な字。少し固さがとれたらと思う。

志風君 丁寧に臨しているが、今後は線の勉強を。

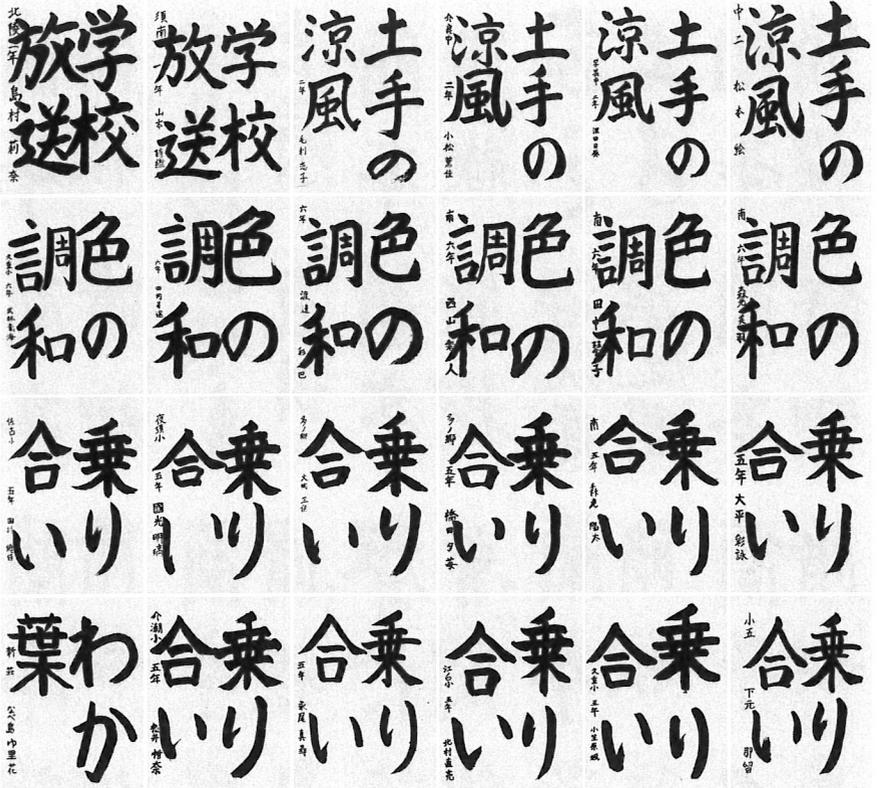
洋介君 丸い線の中に良くくい込んでいます。

(四段目) 塚地桂峰 選評

圭子君 線強くのびやかな作。美智子君 堂々としていて力強い。美知君 流れ良く落ちついた作。

園江君 真面目な作。

順子君 筆力あり、流れもよし。



(一段目) 中学部  
 絵 君 流れよく気持ちのよい作品です。  
 大八木洋女 選評

日葵君 落ちついてよく書いています。  
 薫佳君 じめじめに書いています。  
 恋子君 よく書いていますが少し急いでいますか。  
 詩織君 のびやかで良いです。  
 莉奈君 堂々と書いています。

(二段目) 小学六年  
 美羽君 良くまとまっている。  
 岡林邦心 選評

琴子君 明るくまとまっている。  
 樂人君 いていぬいに書いています。  
 彩巴君 温和な作品です。

芽途君 いていぬいで良い。  
 青海君 素直で明るくて良い。  
 佐々木港花 選評

(三・四段目) 小学五年  
 彩詠君 落ちついてよくまとまりました。  
 陽太君 元気に書きました。

夕苺君 元気に書きました。  
 三佳君 素直に書きました。  
 明璃君 元気に書きました。

優佳君 落ちついて書きました。  
 那留君 堂々として力強いです。

颯 君 力強く堂々と書きました。  
 直亮君 形よくまとまっています。  
 真尋君 形よくまとまっていますが、元気がほしいです。

柑奈君 のびのびと形よく元気があります。  
 (四段目) 小学四年  
 中平美峰 選評

祐里花君 のびのびと書いています。



陸 君 力強くかけました。字がくつつかないように。  
 さとみ君 元よくまとまりました。  
 風 君 元気良くかけています。  
 袖季君 まとまっています。  
 太陽君 元気に書きました。  
 花 君 のびのびとかけています。  
 青星君 元気に書けています。  
 ここな君 のびのびと書けました。この調子で。  
 (二・三段目) 小学三年 市原處艸 選評  
 まな君 しっかりと力強い。  
 希実君 しっかりと力強い。  
 あみ君 元気に書けています。  
 やまと君 形よく整えていますね。  
 えみり君 おちついて書けました。  
 ひまり君 大きくのびのびと書けて良い。  
 ゆず君 「父」の字は、すばらしい。  
 さつき君 ゆつたりと大らかな作品で良い。  
 ゆかこ君 おもいきつて、元気に書けました。  
 (三・四段目) 小学二年 深瀬緑堂 選評  
 せいまい君 力よくかけました。  
 ひかり君 元気よくかけています。  
 千春君 元気にいねいによくまとめました。  
 真里君 おもいきりかけました。  
 (四段目) 小学一年・ようち・ほいく 大原桂園 選評  
 そう君 のびのびかけました。  
 ふうか君 元気に力よくかけました。  
 りいは君 元気にかけています。

浦ノ内 大友銀次郎  
浦ノ内 美島 菜花

人は、脳を流れる血液の温度が低ければ、こちよく感じます。えがおになつて、たくさん空気を吸ひこむと、脳を流れる血液が冷やされて、楽しい気持ちが生じます。  
浦ノ内六六 大友銀次郎

人は、脳を流れる血液の温度が低ければ、こちよく感じます。えがおになつて、たくさん空気を吸ひこむと、脳を流れる血液が冷やされて、楽しい気持ちが生じます。  
浦ノ内六六 九〇 美島 菜花

人は、脳を流れる血液の温度が低ければ、こちよく感じます。えがおになつて、たくさん空気を吸ひこむと、脳を流れる血液が冷やされて、楽しい気持ちが生じます。  
浦ノ内六六 七〇 森田このは

人は、脳を流れる血液の温度が低ければ、こちよく感じます。えがおになつて、たくさん空気を吸ひこむと、脳を流れる血液が冷やされて、楽しい気持ちが生じます。  
久重 五〇 武林 青海

浦ノ内 森田このは  
久重 武林 青海

朝倉 松本 美枝  
多ノ郷 弘瀬英乃玲

人は、脳を流れる血液の温度が低ければ、こちよく感じます。えがおになつて、たくさん空気を吸ひこむと、脳を流れる血液が冷やされて、楽しい気持ちが生じます。  
朝倉六六 四〇 松本美枝

地球には、たくさんのお母さん、さまざまな生き物がいる。生き物の、最も生き物らしいところは、多様だということだろう。しかし、よく見ると、その中に共通性がある。  
多郷五八 弘瀬英乃玲

地球には、たくさんのお母さん、さまざまな生き物がいる。生き物の、最も生き物らしいところは、多様だということだろう。しかし、よく見ると、その中に共通性がある。  
朝倉五五 大平 彩詠

地球には、たくさんのお母さん、さまざまな生き物がいる。生き物の、最も生き物らしいところは、多様だということだろう。しかし、よく見ると、その中に共通性がある。  
多郷五五 六〇 橋田夕葵

朝倉 大平 彩詠  
多ノ郷 橋田 夕葵

江ノ口 北村 直亮  
長岡 永尾 真尋

地球には、たくさんのお母さん、さまざまな生き物がいる。生き物の、最も生き物らしいところは、多様だということだろう。しかし、よく見ると、その中に共通性がある。  
江口五五 北村直亮

お母さんのかたにかかっているかばんには、お薬、お薬、配給のきつぷ。そして、大事なお米で作ったおにぎりが入っていました。  
長岡五五 永尾真尋

お母さんのかたにかかっているかばんには、お薬、お薬、配給のきつぷ。そして、大事なお米で作ったおにぎりが入っていました。  
新莊四・八〇 鍋島祐里花

お母さんのかたにかかっているかばんには、お薬、お薬、配給のきつぷ。そして、大事なお米で作ったおにぎりが入っていました。  
森 四・七〇 玉城陸

新莊 鍋島祐里花  
秦 玉城 陸

一ツ橋 川崎陽菜穂  
夜須 渡邊 紗己

お母さんのかたにかかっているかばんには、お薬、お薬、配給のきつぷ。そして、大事なお米で作ったおにぎりが入っていました。  
一ツ橋四・六〇 川崎陽菜穂

お母さんのかたにかかっているかばんには、お薬、お薬、配給のきつぷ。そして、大事なお米で作ったおにぎりが入っていました。  
夜須小四・五〇 渡邊紗己

お母さんのかたにかかっているかばんには、お薬、お薬、配給のきつぷ。そして、大事なお米で作ったおにぎりが入っていました。  
夜須 四・五〇 白石 葵

友だちの話を聞くと、知らなかったことや、自分もやってみたいと思うことが出てきて、くわしく知りたくなることはありませんか。  
夜須 三・五〇 白石 葵

夜須 白石 葵  
多ノ郷 はし田まな

須南 前田 真音  
波介 長尾 ゆず

友だちの話を知ると、  
知らなかつたことや、自  
分もやってみたいと思  
うことが出てきて、くわ  
しく知りたくなること  
があまりありませんか。  
須南三・四〇・前田真音

友だちの話を知ると、  
知らなかつたことや、自  
分もやってみたいと思  
うことが出てきて、くわ  
しく知りたくなること  
があまりありませんか。  
波介三・三〇・長尾ゆず

友だちの話を知ると、  
知らなかつたことや、自  
分もやってみたいと思  
うことが出てきて、くわ  
しく知りたくなること  
があまりありませんか。  
波介三・三〇・前田真音

友だちの話を知ると、  
知らなかつたことや、自  
分もやってみたいと思  
うことが出てきて、くわ  
しく知りたくなること  
があまりありませんか。  
波介三・三〇・前田真音

長岡 二宮有佳子  
波介 福永 りこ

くれ 中ひら 千柳  
長岡 森田 千春

春風に ふかれて  
竹やぶが ゆれる、  
おどる。雪が、とけ  
る。水に なる。ふ  
きのとうが のびる。  
くれ 二・三〇 中ひら 千柳

春風に ふかれて  
竹やぶが ゆれる、  
おどる。雪が、とけ  
る。水に なる。ふ  
きのとうが のびる。  
長岡小二・初 森田 千春

春風に ふかれて  
竹やぶが ゆれる、  
おどる。雪が、とけ  
る。水に なる。ふ  
きのとうが のびる。  
おち 二・三〇 森田 千春

春風に ふかれて  
竹やぶが ゆれる、  
おどる。雪が、とけ  
る。水に なる。ふ  
きのとうが のびる。  
おち 二・三〇 森田 千春

おち 中ひら 千柳  
かたおかあやめ

くれ 中ひら 千柳  
おくだいさと  
なべしま そう

春風に ふかれて  
竹やぶが ゆれる、  
おどる。雪が、とけ  
る。水に なる。ふ  
きのとうが のびる。  
くれ 二・三〇 おくだいさと

まほうの  
ほうきで  
そらとぶ  
おばさん  
しんじょう 二・三〇 中ひら 千柳

まほうの  
ほうきで  
そらとぶ  
おばさん  
おじやあ 二・三〇 中ひら 千柳

まほうの  
ほうきで  
そらとぶ  
おばさん  
おじやあ 二・三〇 中ひら 千柳

ふじさわ わたなべかずと  
うらノ内 みやじ らいと

一ツばし うじはらいちの  
うらのうち ふじた ゆあ

まほうの  
ほうきで  
そらとぶ  
おばさん  
おはし 一・二〇 中ひら 千柳

まほうの  
ほうきで  
そらとぶ  
おばさん  
うらうち 一・二〇 中ひら 千柳

まほうの  
ほうきで  
そらとぶ  
おばさん  
うらうち 一・二〇 中ひら 千柳

まほうの  
ほうきで  
そらとぶ  
おばさん  
うらうち 一・二〇 中ひら 千柳

うらのうち やのそうま  
あおい おおしりりサ





深瀬利恵  
岡村和子  
川村忠子  
審査 塚地 桂峰

★一級

大平圭子  
山本美智子  
吉永美知  
岡崎彩華  
井上知勢子  
小松照代  
井上増水  
上田夏海

★三級

○高橋園江

★五級

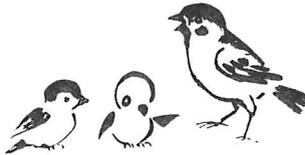
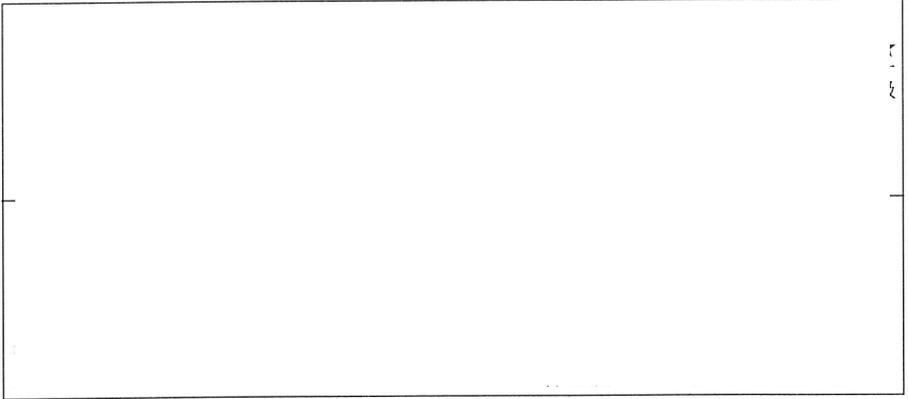
○大井 淳

★六級

○中嶋順子  
○鈴木輝代  
毛利恋花  
吉田房子

★七級

○濱田幸子  
○橋本波美江



### 【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千元

★準師範以下一般 二千元

★学 生 一千元

(注意) 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先) ご希望の先生に要項を明記した文書で

直接お申し込み下さい。

〒七六一〇一〇三三

土佐市高岡町丙五二一六

龍跳書道会 北代碧山

〒七八一〇七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一〇一三〇一

高岡郡越知町越知甲二一一七七一六

龍跳書道会 梅川桂龍

## 秋季昇段試験作品募集

▽第一部 (準師範) 一般部段位、級位の者

○課題

不知細葉誰裁出 二月春風似剪刀

知らず細葉 誰か裁ち出だせる 二月の春風 剪刀に似たり

○右の詩句を画仙紙半折に楷、行草体の二枚と一ページの雁塔聖教序より、十二文字以上を臨書して計三点出品のこと。

○作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級位と氏名を明記すること。

○当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部 一般部級位の者

○課題

春色濃於酒

春色酒よりも濃こやかなり

○右を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。

○作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。

○作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。

○当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

☆出品料 第一部・六千円／第二部・四千円

(作品と同時に納入してください)

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。潤筆料は条幅三点につき一万五千円、半紙三点につき五千円。

▽学生・学童の部 (毛筆部)

○課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。

○規格は半紙。一人一点とします。

○書体は自由です。

○作品の裏にエンピツで学年、現段級位、氏名を書くこと。

○作品の表には絶対に書いてはいけません。

○出品料 五百円

▽硬筆作品

○課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。

○それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学校名、学年、

現段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

○出品料 五百円

△作品の締切 令和元年八月二十九日(木) 必着のこと。

△審査日時 令和元年九月一日(日)

午前九時三十分より

△審査場所

高知城ホール

△受験作品送付先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山 宛

電話(088)86518857

注

封筒表に「昇試作品在中」と明記する事

お知らせ

●第37回安芸全国書展

入選

- 田中翠
- 西山極
- 水田紅子
- 大庭桂紅
- 大石千施

(前号で記載漏れてました)



連絡・問い合わせ・送り先等

- ・新規入会申込と会費の送金先
- ・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田巨心

龍跳誌送付 燕味口街驛号

016900-3-31925  
電話(〇八八九) 三五〇九七一番

- ・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八) 八六五―八八五七番

- ・「龍跳誌」の内容について

〒781-6410 安芸郡田野町一四五六―二九

廣末幽念

電話(〇八八七) 三八―五二〇八番

- ・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一―八

江西澄翠

電話(〇八八九) 四二―三〇六七番

- ・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(〇八八九) 四七―〇七二二番

あとがき

龍跳の会員は現在、五百八名となりました。

平成11年には、約千二百名でしたので、約七百名が減少したことになります。

龍跳を守っていく為には、これ以上の減少は避けたいところですが、なかなか止まりません。

ぜひ、一人でも多くの会友を増やすようお願いしたいと思えます。

又、龍跳展、新年試筆、昇試など、多くの参加を頂き、腕を磨いて頂くとともに龍跳を盛り上げて頂きたいと思えます。

さて、会計から少しお願いを・・・。

龍跳誌の郵送の方は、会費と郵送料を振込み下さい。時々会費のみの方がおられます。

会費切れのときは、2か月後の龍跳誌送付の時にご連絡します。そのときは、ご入金をお願いします。

退会の時には、必ずご連絡下さい。連絡のない場合、龍跳誌は継続するものとしてお送りします。

振込み頂くときには、内容(会費、昇試受験料、新年試筆、龍跳展参加料、認定証等)と金額をご記入下さい。

入金には振込みが一番安全です。昇段試験の受験料を作品に同封することはできるだけ避けてください。

今後とも、ご協力をよろしく願います。

# 月例競書課題

保 育	" 一年	" 二年	" 三年	" 四年	" 五年	小学六年	" 一年	" 二年	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部 別	締切日
													縮切	八月二十日
す な	そ ら	台 風	夏 休 み	草 を 取 る	田 舎 の 道	温 故 知 新	海 岸 の 散 歩	任 意	瀟 湘 水 北 流	任 意	縮切	九月二十日		
あ き	こ め	生 命	秋 の 山 里	興 に 乗 る	空 清 き 里	科 学 技 術	看 板 の 文 字	任 意	還 家 萬 里 夢	任 意	縮切			

## 会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 : 半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は送料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

〈例〉 12冊 ①+Ⓐ = 290円×月数  
 17冊 ①+Ⓑ = 360円× "  
 30冊 ①×3 = 630円× "

◎会費と龍跳誌送料は原則として半年分または1年前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心  
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会  
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分  
 誌代 ○円 / 送料 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	発行人	編集室
(有)笹岡印刷所	龍跳書道会	廣末幽念(本部)	廣末幽念
須崎市東古市町二一六	電話(〇八七) 三八一五二〇八	安芸郡田野町一四五六一二九	北代碧山
電話(〇八九) 四二一〇二四四		電話(〇八七) 三八一五二〇八	野島桂山
			前田秀華
			江西澄翠
			中平美峰

月例作品送り先  
 〒783-0081 南国市片山四九〇  
 西山極山宛  
 電話(〇八八) 865-8857